



私ども「緑が丘地区社会福祉協議会」の設置目的は、端的には地域住民の社会福祉の増進を図るための、市・市社会福祉協議会が推進する福祉事業への連携・協力にあります。「敬老会・さわ会」「赤い羽根や歳末助け合い募金・日赤社資や市社協会員の募集」がその中心的な活動です。

このため、市の三十九連合自治会（自治会総数は約八百）それぞれに、地区社会福祉協議会が設置されています。本会もその一つで、自治会代表、民生・児童委員、福祉協力員等がその構成員です。

令和四年度の本会活動につきましては、コロナ禍による行動自粛の社会的・精神的脆弱というリスクの大きさに鑑み、またこれまでのコロナ禍の経験を活かした上で、「形を変えても、規模を縮小して

も、とにかく実施する」という前提でスタートしました。以下は、その実施概要です。

「さわ会・給食交流会」
管外給食会

ひとり暮らしの高齢者の皆様への月一回の「さわ会」は、三密防止のため、参加者人数を概ね五十名程度にし、また、担当地区の皆さんによる手作り弁当を外部発注に替えた上での持ち帰りとなりました。限られた予算内での実施ですが、地区担当の皆さんの「細やかな心遣い」という一味が加えられています。

十一月二日の緑が丘小児童との「給食交流会」では、残念ながら教室での給食会は見送りとさせていただきますが、体育館での児童の皆さんとの交流は、高齢者の皆さんをとっても明るく、心豊かにしてくれました。参加者の方からいただいた感想を紙幅の関係で別頁に掲載させていただきますので、ぜひご覧ください。

「管外給食会」については、給食交流会同様三年ぶりの開

催で十一月十五日に実施しました。内容は食事会と史跡等めぐりで、今回は佐野方面へのバス旅行でした。最初に出流山満願寺に参拝し、境内を散策する予定でしたが、あいにくの雨模様となり、急遽、住職さんのご好意により「護摩祈祷」を体験させていただきました。その後、場所を移しての和食の食事会で、少し遅い昼食会となりました。はじめは小声だった会話が時間とともに食材や調理方法等に話題が広がり、ずいぶん会話が弾んだようでした。最後に、近くの道の駅に立ち寄り、「旅行支援事業」の恩恵の「クーポン券」でショッピングを楽しみ、帰路につきました。

「敬老会（記念式典・映画会）」

地区敬老会を九月十九日に実施しました。全対象者約千九百名の皆さんへの記念品の配付と空調設備の使い初めとなった緑小体育館での約二百名の参加による記念式典・映画会でした。

これは、コロナの感染拡大

に伴う自粛要請により中止された昨年度の計画への再チャレンジで、本映画会を提案された故金田貞夫前連合自治会長の遺訓を偲ぶ機会ともなりました。

年齢を問わず、今日の社会福祉問題の背景には、「孤立」という共通課題があります。その解消は一朝一夕にはいかな根の深い問題ですが、「対象を絞らないグループへの参加型活動」の着実な実践が有効との研究結果があるそうです。社会福祉充実のカギとなる「安心・安全」が担保される環



境、その前段としての「ゆるやかなつながり」を生み出す土壌づくりに向けて、参加者目線に立った、小さな改善をみんなで積み重ねていきたいものです。

体育祭三年ぶりに開催

緑が丘体育協会

会長 寺内 利夫

コロナの影響で三年ぶりに体育祭の開催となりました。

福田県知事、佐藤市長をはじめ多くのご来賓をお迎えし開催しましたが、怪我人もなく成功裡に終了することができました。

各自治会長をはじめ関係者の皆さんに御礼申し上げます。令和四年度の行事も「密」になるバレーボール大会を除きすべての大会を終了することができました。

また同じく三年ぶりに開催されたコミセン祭にも体協として模擬店で六店舗参加し盛り上げに協力しました。

今年も役員一同、コロナにめげずがんばります。



福田知事 佐藤市長



優勝 東原南自治会



準優勝 緑1丁目自治会



第3位 双葉2丁目自治会

令和4年度大会成績

	東原北	東原南	東 浦	双葉一	双葉二	江曾一	江曾二	緑 一	緑 二	緑 三	最優秀選手
第39回バドミントン大会			第三位	準優勝	優勝	第三位					金澤 英男(双葉二)
第29回輪投げ大会				準優勝			第三位		優勝		井上 良二(緑一)
第50回社年ソフトボール大会		第三位	準優勝			第三位		優勝			石川 清(緑一)
第50回簡易バレーボール大会	中止										
第24回一般ソフトボール大会	第三位	優勝	第三位			第三位		準優勝			石田 隼人(東原南)
第50回一般バレーボール大会	中止										
第51回 体育祭	第九位	優勝	第四位	第五位	第三位	第七位	第十位	準優勝	第六位	第八位	
得点	[31]	[51]	[45]	[44]	[49]	[39]	[28]	[50]	[41]	[35]	
第30回輪投げ大会				第三位	準優勝			優勝			篠原 宏之(双葉二)
第35回卓球大会			第三位				第三位		準優勝	優勝	村上 茉鈴(緑三)

建築全般 真心の住い造り (有)坂本工務店

人をつなぐ笑顔の中で

緑が丘地域まちづくり協議会
事務局長 岡田 米男



本会では、三密防止を図りながら、屋外での活動等を中心に、三年ぶりの「コミセンまつり」、昨年度に続く「健康ウォーク」、そして四十二年ぶりとなる「とちぎ国体」への協力等を行いました。その概要は以下のとおりです。

(1) コミセンまつり

令和四年十月二十九日〜三十日にコミセン本館内外で、カラオケ・作品展・模擬店、



そして緑が丘小学校校庭では、ミニSSL蒸気機関車、各自治会対抗の輪投げ大会等が行われ、約千五百名の参加者で大賑わいでした。
腹一杯の顔・顔・顔でコミセンまつりを楽しみました。

(2) 運動公園への健康ウォーク

令和四年十一月二十六日(土)、曇り後小雨の天候でしたが、一三四名の参加者で、総合運動公園までの約4kmのコースを一時間ほどかけて散策しました。

コロナ対策のため、三班に分かれ順次間隔を空けて出発し、晴れ晴れとした満足顔で運動公園内を廻り、帰りはお土産を抱え元気に帰路に着きました。

紅葉も深まり色彩豊かな光景の一場面を楽しんだ一日でした。



(3) 国体の花

国体期間中、会場内の道路にならべられてあった歓迎用鉢がお役御免となり、当緑が丘地域にも配布され、地域の公園や道路等に飾られ道行く人の慰めとなっています。

通る人々毎に、「奇麗だね」と見とれている姿の柔らかな雰囲気が漂ってきます。

